

俳句を写真画像と共に楽しむ <奇数月28日発刊>

●しゃらくかい 写楽同会

令和4年初夏の号 [vol.75]
(5・6月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2022 Sharakukai



イメージ写真: 昼寝覚

初夏(5・6月)の兼題「鳥」 出題: CSさん

写真俳句の部

(掲載ランダム)



鳩集い餌を求めし余寒かな

鳩集い餌を求めし余寒かな

(季語: 余寒=春)

千泉



整列しミツユビカモメ堰の守

(季語: 堰守=夏)

北切雀



ノルマンの城に飛燕や矢の如く

(季語: 飛燕=春)

陽閑



春の空豆つぶ程に鳶一羽

(季語: 春の空=春)

昼寝覚



常陸沖夏の夜明けや鶉が一羽

常陸沖夏の夜明けや鶉が一羽

(季語：夏の夜明け=夏)

iSAMU



土筆踏み急ぐ水辺やあひる二羽

土筆踏み急ぐ水辺やあひる二羽

(季語：土筆=春)

久芽



ツバメ飛ぶ返還の地今日で50年

ツバメ飛ぶ返還の地今日で50年

(季語：ツバメ=春)

梵木



囀りや緑の館飛び立ちぬ

囀りや緑の館飛び立ちぬ

(季語：囀り=春)

準坊



川蝉や
羽音は唄い
瀬を早む

川蝉や羽音は唄い瀬を早む

(季語：川蝉=夏)

池福楼

俳句の部

(掲載ランダム)

^{とりこ}
鳥籠から丸官鳥の猫の恋 陽閑 (季語:猫の恋=春)

目覚めるとキューエーとオナガつゆ晴れ日 梵木 (季語:つゆ晴れ=夏)

^{ももちどり}
百千鳥姿隠してラブコール 準坊 (季語:百千鳥=春)

喧騒のカラス初音を掻き消して 久芽 (季語:初音=春)

親鳥と見紛うほどや風光る 千泉 (季語:風光る=春)

帰国して子スズメに会う安寿恋し マム (季語:子雀=春)

真白なる胸ふくらます初燕 昼寝覚 (季語:初燕=春)

砂浴びす雀の姿清々し 北切雀 (季語:清々しい=夏)

電線に鳩の五線譜走り梅雨 池福楼 (季語:走り梅雨=夏)

川柳の部

(掲載ランダム)

囀りも耳鳴り混じり鳥よろず 陽閑

検査せずダニか花粉が大違い 陽閑

音声の風呂が沸いたに返事する 久芽

口だけはやるときゃやると何もせず 準坊

「カギ十字」今はロシアの「Z」かな 準坊

プーチンにチョビひげ描けばハイル・・・ 準坊

シルバー川柳 池福楼

気になるわその加齢臭とシップ臭

母百歳^こ娘七十歳に説教する

^{ひと}
他人は見る席譲られる歳となる

季語抜粋

百千鳥 (ももちどり) = これは鳥の名前ではなく、春の鳥の囀り (さえずり) や群がりなどをいう言葉。

堰守 (せきもり) = 堰を管理する、水番の異称。

初音 (はつね) = その年初めて聞くウグイスの鳴き声

作者コメント

常陸沖夏の夜明けや鵜が一羽 iSAMU

これは北茨城の十王町の鵜の岬の朝日の中を飛翔する鵜です。観光用の鵜飼が各地で行われていて、ここの断崖絶壁の上に捕獲場があり、罠の鵜にだまされて鵜が飛来するのを隠れていて捕獲し各地に送付するのだそうです。



ノルマンの城に飛燕や矢の如く 陽閑

Goodrich Castle

ウェールズに近い Wye Valley にある古城に 4/25 行きました。映ってませんが燕がいっぱいビュンビュン飛んでました。



真白なる胸ふくらます初燕 昼寝覚

電線に止まっていた燕の胸の白さが目に沁みました。



夏(7・8月)の号 兼題「雲」

イメージ写真: 準坊

- 読者 RAさんから7・8月号の兼題を「雲」といただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。締め切りは令和4年7月20日です。
- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2022 Sharakukai